

市民記者が行く！広報サポーターレポート

西尾市国際交流協会主催 日本文化にふれよう「浴衣で盆踊り」



広報サポーター
鈴木正樹さん(馬場町)

市の統計では、29年10月1日現在の人口は17万1771人で、うち8142人が外国人です。日本に住む外国人は、言葉や生活習慣などの「文化の壁」と向き合いながら、不慣れな地で毎日生活しています。そんな外国人の日常を少しでもサポートしよ



日本語スピーチ発表会

まずは、日本語スピーチ発表会。私が想像していた日本語学習の成果を発表する場ではなく、堂々と意見を主張する場でした。ある男性は「日本と母国の正月の時期が違うために帰れない」と残念な気持ちを伝え、またある女性は「旅先でおばあさんか



日本語教室

うと、平成6年に設立されたのが「西尾市国際交流協会」です。今回は、協会の活動を紹介するため、3月26日の「日本語スピーチ発表会」、8月6日の「日本語教室」と「外国人と一緒に盆踊り」取材させていただきました。

らもらった水仙の花の美しさ、日本人の優しさを感じ浮かべ、その感動を涙ながらに語っていました。

次に、協会の重要な活動の一つである、日本語教室。来日して間もない方たちが学ぶ入門クラスから、日本語能力試験を受けられるレベルのクラスまで、6段階に分けられています。入門クラスでは、ボランティア講師が絵などを使いながら熱心に指導してみえました。参加者は同じ出身国のグループに分かれて単語の習得に励んでいました。その後取材した上級者クラスは、まるで日本の国語の授業のようで驚きました。

最後は、会員の皆さんが最も楽しみにしている盆踊りです。参加したのは、8か国の総勢約120人。昼前から、ボランティアに色とりどりの浴衣を着付けてもらうと、早速ロビーや玄関先でポーズを取って写真撮影するなど、大はしゃぎの様子で



外国人と一緒に盆踊り (上・下)

広報サポーターは、公募により選ばれた市民記者です。これからも市民の目線で、市内各地のイベントなどを取材していただきます。

した。午後1時に杉浦会長のおいさつで始まり、全員そろって記念撮影。4人の日本舞踊の先生の指導で「正調西尾小唄」や「郡上節(川崎)」など、おなじみの4曲を踊りました。満面の笑顔で踊る姿からは、言葉の壁は感じられませんでした。

協会の活動は、他にもたくさんあります。内側から殻を突く難と、外側からそれを援護する親鳥のように、お互いが努力し、文化の壁を乗り越えようと多くの方が集まる様子は、とても興味深いものでした。